中1 社会 歴史 中世 一問一答（20問）　版I

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 土地を仲立ちにして、主人と家来が御恩と奉公の関係で結ばれるしくみを何というか

(2) 1221年に、朝廷の力を取りもどそうとして幕府をたおす兵をあげた上皇はだれか

(3) 1232年に、武家社会のきまりとして御成敗式目を定めた人物はだれか

(4) 鎌倉幕府が荘園や公領ごとに置いた、年貢の取り立てや土地の管理を行う役職を何というか

(5) 平氏がほろびた、現在の山口県下関市の海で行われた戦いを何というか

(6) 鎌倉幕府で、将軍を補佐する役職で、北条氏が代々ついて実権をにぎったものを何というか

(7) 一遍が開いた、踊念仏で教えを広めた仏教を何というか

(8) モンゴル帝国の第5代皇帝で、国号を元と改め、日本に服属を求めて2度攻めてきた人物はだれか

(9) 1297年に、生活に苦しむ武士を救うため、幕府が借金の帳消しなどを命じた法令を何というか

(10) 兼好法師が、社会や人生について思ったことを書きつづった随筆を何というか

(11) 平氏の栄えとほろびを描き、琵琶法師によって語り伝えられた軍記物を何というか

(12) 建武の新政に不満を持つ武士を率いて京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となって幕府を開いた人物はだれか

(13) 蝦夷地（北海道）に住み、狩りや漁、交易を行っていた人々を何というか

(14) 15世紀に尚氏が沖縄島を統一して建てた、首里を都とする国を何というか

(15) 室町時代に、農民たちが寄合を開いて村のおきてを定め、自分たちで運営した自治の村を何というか

(16) 応仁の乱が始まったのは西暦何年か

(17) 室町時代に、品物を預かってお金を貸した、質屋のような金融業者を何というか

(18) 墨の濃い・うすいだけで自然などを表した絵を何というか

(19) 足利義満が京都の北山に建てた、3層の建物で金ぱくがはられたものを何というか

(20) 能の合間に演じられた、民衆の生活などを題材にした喜劇を何というか

中1 社会 歴史 中世 一問一答（20問）　版Iの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 土地を仲立ちにして、主人と家来が御恩と奉公の関係で結ばれるしくみを何というか　封建制度

(2) 1221年に、朝廷の力を取りもどそうとして幕府をたおす兵をあげた上皇はだれか　後鳥羽上皇（後鳥羽天皇・後鳥羽院 でも正解）

(3) 1232年に、武家社会のきまりとして御成敗式目を定めた人物はだれか　北条泰時

(4) 鎌倉幕府が荘園や公領ごとに置いた、年貢の取り立てや土地の管理を行う役職を何というか　地頭

(5) 平氏がほろびた、現在の山口県下関市の海で行われた戦いを何というか　壇ノ浦の戦い（壇の浦の戦い でも正解）

(6) 鎌倉幕府で、将軍を補佐する役職で、北条氏が代々ついて実権をにぎったものを何というか　執権

(7) 一遍が開いた、踊念仏で教えを広めた仏教を何というか　時宗

(8) モンゴル帝国の第5代皇帝で、国号を元と改め、日本に服属を求めて2度攻めてきた人物はだれか　フビライ・ハン（フビライ・クビライ でも正解）

(9) 1297年に、生活に苦しむ武士を救うため、幕府が借金の帳消しなどを命じた法令を何というか　永仁の徳政令（徳政令 でも正解）

(10) 兼好法師が、社会や人生について思ったことを書きつづった随筆を何というか　徒然草

(11) 平氏の栄えとほろびを描き、琵琶法師によって語り伝えられた軍記物を何というか　平家物語

(12) 建武の新政に不満を持つ武士を率いて京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となって幕府を開いた人物はだれか　足利尊氏

(13) 蝦夷地（北海道）に住み、狩りや漁、交易を行っていた人々を何というか　アイヌ民族（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(14) 15世紀に尚氏が沖縄島を統一して建てた、首里を都とする国を何というか　琉球王国

(15) 室町時代に、農民たちが寄合を開いて村のおきてを定め、自分たちで運営した自治の村を何というか　惣（惣村 でも正解）

(16) 応仁の乱が始まったのは西暦何年か　1467年

(17) 室町時代に、品物を預かってお金を貸した、質屋のような金融業者を何というか　土倉

(18) 墨の濃い・うすいだけで自然などを表した絵を何というか　水墨画（墨絵 でも正解）

(19) 足利義満が京都の北山に建てた、3層の建物で金ぱくがはられたものを何というか　金閣（鹿苑寺金閣・金閣寺 でも正解）

(20) 能の合間に演じられた、民衆の生活などを題材にした喜劇を何というか　狂言